

2012年11月8日

## デルタ航空、2012年12月より日本発着便の燃油サーチャージを変更

【東京、2012年11月8日】－デルタ航空(NYSE:DAL)は、国土交通省の認可を受け、2012年12月1日発券分より、日本発着の燃油サーチャージの金額を変更します。

詳細は下記のとおりです。

### デルタ航空日本発券分燃油サーチャージ

1 旅客 1 区間片道当たり燃油サーチャージ額 (単位:円)		
対象路線	2012年11月30日発券分まで (2012年9月24日付国土交通省認可)	2012年12月1日発券分より (2012年11月5日付国土交通省認可)
日本－北米	21,000	<b>26,000</b>
日本－ハワイ	13,500	<b>16,500</b>
日本－タイ・シンガポール	10,500	<b>13,000</b>
日本－マイクロネシア (グアム・サイパン・パラオ)・ フィリピン	6,500	<b>8,000</b>
日本－中国・台湾・香港	5,500	<b>6,500</b>
日本－韓国	2,000	<b>2,500</b>

\* 2ヶ月毎に航空燃油(シンガポールケロシン)価格を確認し、予め設定された条件額を下回った場合、もしくは上回った場合、翌々月1日からの変更を関係国政府に認可申請します。シンガポールケロシン市場価格の2ヶ月平均が1バレル当たり50米ドルを下回った場合、本運賃は廃止いたします。

\* 上記サーチャージ額は2013年1月31日発券分までの固定額です

\* 日本－中南米については、別途に燃油サーチャージを設けています。

2012年11月30日発券分までは片道22,000円、2012年12月1日発券分からは片道27,000円となります。同路線の燃油サーチャージは、上記改定条件に準じません。

\* 本サーチャージには割引の適用はございません。大人・小児・幼児ともに同額のご負担をお願いしています。

ただし、座席を使用しない2歳未満の幼児は本サーチャージの対象外となっております。

デルタ航空は年間1億6,000万人以上の搭乗者数と広範なネットワークを持つ航空会社です。トラベルウィークリー誌の読者により「2011年米国内ベストエアライン(domestic "Airline of the Year")」や、PCWorld誌の「最もテクノロジーの進んだ(Tech-Friendly)米国航空会社」に選出されたほか、ビジネストラベルニュース誌のエアラインサーベイ、エグゼクティブ・トラベル・マガジンのリーディング・エッジ・アワードなどを受賞しています。デルタ航空およびデルタ・コネクションの運航便とあわせて、世界58カ国、313都市に向けてフライトを運航しています。世界で8万人以上の従業員を擁し、700機以上の主要機材を運航しています。デルタ航空は、航空連合(アライアンス)「スカイチーム」の創立メンバーとして、大西洋路線においてエールフランス-KLM、アリタリア-イタリア航空とともに、共同事業を展開しています。アトランタ、シンシナティ、デトロイト、メンフィス、ミネアポリス/セントポール、ニューヨーク(JFK)、ソルトレイクシティ、パリ(シャルルドゴール)、アムステルダム、東京(成田)をハブ空港とし、提携航空会社と合わせて一日に1万3,000便以上のフライトを運航しています。デルタ航空のサービスには、世界最大のマイレージプログラム「スカイマイル」、各賞を受賞しているビジネスクラス「ビジネスエリート」、世界中の空港に50箇所以上設置しているラウンジ「デルタ スカイクラブ」等があります。デルタ航空は2013年にかけて総額30億ドルを投じて空港施設やプロダクト、空港および機内での顧客サービス向上とテクノロジー導入を進めています。詳しくはホームページ [delta.com](http://delta.com) をご覧ください。

<報道関係者お問い合わせ先>

デルタ航空太平洋地区広報部 岡田(田中)／松元  
 電話 03-5400-7230 e-mail: [corpcommjapan@delta.com](mailto:corpcommjapan@delta.com)  
 日本語ニュースルーム <http://delta.jp.mediaroom.com/>